



# 三小だより

11月号 令和5年10月31日発行  
横浜市立港南台第三小学校 学校だより  
電話 833-0251  
FAX 833-9204

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai3/>

## 繋がり「地域防災の大切さ」

校長 岡部 一郎

11月です。秋も少しずつ深まり、校庭の木々も色づき始めています。そして、やっといろいろな活動に取り組みやすい季節になったと感じています。子ども達も元気いっぱい学校生活を送っています。ただ、最近は、寒暖の差が激しく体調を維持することが難しいようです。学校では、子ども達の体調に気を付けながら、学習を進めていきたいと思っておりますが、ご家庭でも生活リズムを整えるなど、よいコンディションで過ごしていただけるようご協力をお願いいたします。

さて、10月14日（土）には、港南台第三小学校を地域の防災拠点とする集まりがありました。本校は、大きな災害時には避難場所になるなど、地域防災の要となっています。この日は、地域から多くの方々への参加があり、その運営は、地域防災拠点会議の委員長さんを中心に行われました。ここでは、災害に対する備えや対応、また大きな災害時に、本校が果たす役割などを知る大切な機会になっていたと思います。

そして集まりの中では、地域防災に関係する方々の紹介や体育館を避難場所とした、プライベート空間の作り方など、様々なことが伝えられていました。特に、「防災拠点倉庫（校庭南西端）」の中にある物（非常食など）の確認や「はまっ子トイレ」の設置などを実際に見ることができ、災害時にはどのような状況になるかがイメージできました。私自身、大きな災害の時には、食料の確保がとても重要だと考えていますが、一方でトイレについても考えていかなければならないと思っています。先の「はまっ子トイレ」は、学校の西門から職員玄関前あたりまでのスペースに数か所設置されるもので、仕切りによってプライベート空間を作り、便座を設置（下水管に通じています）することにより、トイレが出来上がります。そして、プールの水などをポンプでくみ上げて流す仕組みになっています。このような施設等の扱いについては、防災拠点の委員長さんを中心に、地域の皆様で運用していただくものではありませんが、「学校だより」を通じて、保護者の皆様、地域の皆様に知っていただければ幸いです。

また、港南区は防災については、とても素晴らしい取組をしていると思っています。それは「一時（いつか）避難場所」の存在です。確かに、学校は地域の避難場所になっていますが、地域住民のすべての方が本校に避難するのは、現実的でないため、各地区にある「一時避難場所」が、とても重要な場所になるのではないのでしょうか。私の在住区にはない制度なので大切にしたい取組です。

そして、さらに大切にしたいことは、今回の集まりのように、人と人とか繋がっていくことだと思います。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響もあり、このような機会が少なくなっていたのではないのでしょうか。今年は、多くの地域の方々为学校に集まったことで、顔と顔とで繋がることができ、災害時に助け合う力を高めることができたと思っています。

港南台第三小学校の子ども達にも、学校が防災の拠点となっていることを知らせるとともに、災害の時には、多くの人たちが繋がりを持ち、支え合うことが大切であることを伝えていきます。